

Hello! FUJISEI

No.268

日常生活の悩みや不安

老後の生活設計や 自分や家族の健康

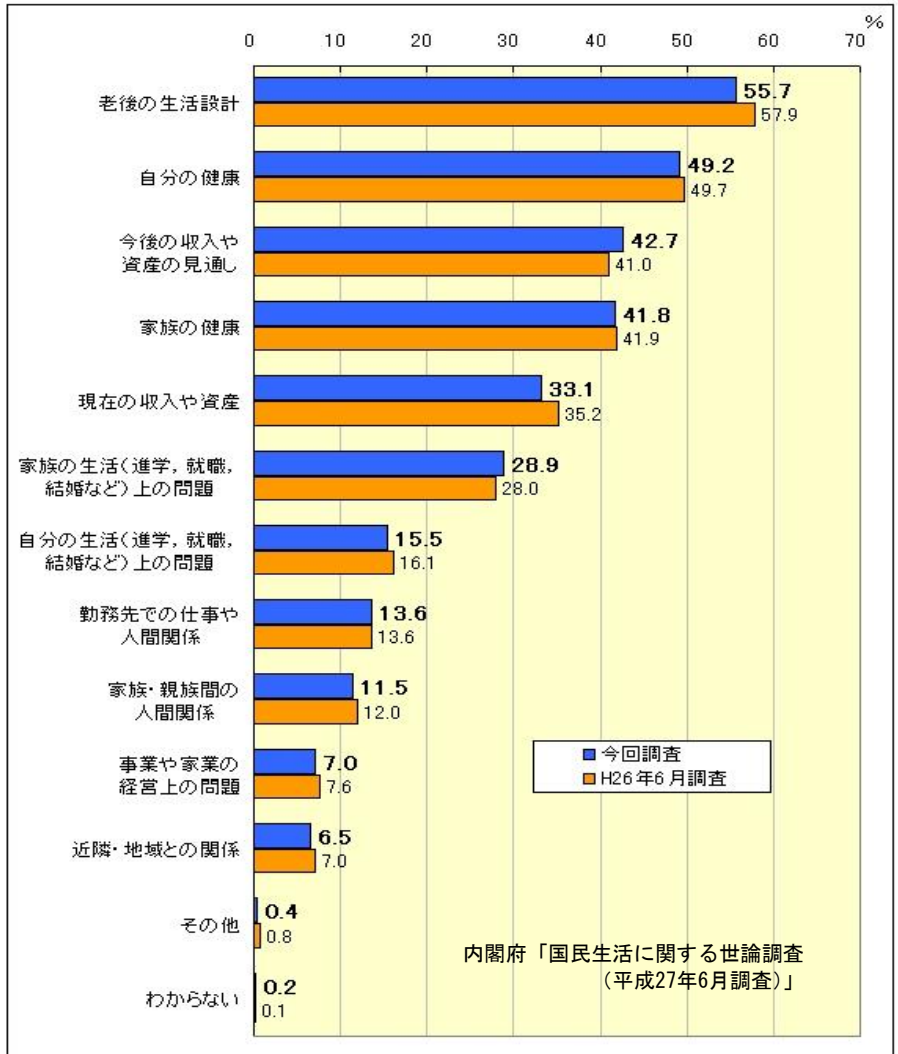
悩みや不安の内容（複数回答、上位4項目）

好景気と言われても、まったく実感がなくという方も多いようです。そもそも景気がよかったことがないから、景気がいい状態が分からないという人もいるかもしれません。

儲かった企業も利益を内部留保し、従業員や関連する中小企業にそれが還元されないということもあります。また、株価が上昇しても、長い景気の低迷を経験してきた人は、少し儲かっても、消費するよりも将来への備えに回したいという思いが強くなるかもしれません。そんななか、株価が乱高下する事態が生じると、やはり将来への不安が先に立つのも仕方ないかもしれません。

内閣府の「国民生活に関する世論調査（平成27年6月調査）」によると、日頃の生活の中で悩みや不安を感じている人が66.7%、感じていない人が31.3%となっています。年齢別に見ると、「感じている」人の割合は働き盛りの40歳代、50歳代で、「感じていない」人の割合は20歳代、70歳以上で、それぞれ高くなります。

「悩みや不安を感じている」と答えた人（3,897人）に悩みや不安の内容を聞くと、「老後の生活設計」が55.7%と最も高く、以下、「自分の健康」49.2%、「今後の収入や資産の見通し」42.7%、「家族の健康」



41.8%などの順となりました。

前回の調査結果と比べると、「老後の生活設計」「現在の収入や資産」の割合が低下しています。

性別に見ると、「家族の健康」は女性で高くなっています。

年齢別では、「老後の生活設計」は50歳代、60歳代で、「自分の健康」は60歳代、70歳以上で、「今後の収入や資産の見通し」は20歳代から50歳代で、「家族の健康」は60歳代、70歳以上で、それぞれ高くなっています。